

みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」の一部とその回答を掲載します。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきます。

ISO14001の認証取得により、環境改善や行政コストの低減化につなげてはいかがですか。

問 ISO14001の認証取得をし、環境マネジメントシステムを積極的に運用することで省エネ・省資源化を図り、環境改善はもちろん行政コストの低減化につながるものと思います。

(大佐貴 男性)

ISO14000シリーズの国際規格の認証取得は大変意義深いものと感じます。認証取得をどの様に位置づけるのか検討したいと思います。

答 ISO14001の認証取得により環境マネジメントシステムを導入する企業

が増加しています。また、県内70市町村ある中で、館林市、高崎市、太田市がすでに認証取得をしています。

行政がISO14001を取得するメリットとしては、
 ・省エネ、省資源による経費節減
 ・職員への意識高揚
 ・町のイメージアップ
 ・町民や事業者を牽引するなどの効果があります。

世界規模で取り組まなければならぬ昨今の環境問題に対し、ISO14000シリーズの国際規格の認証取得は大変意義深いものと感じます。しかし、導入・維持に関するコスト等の問題もありますので、現在環境問題に対する各種の取り組みを行っている中で、この認証取得をどの様に位置づけるのか検討したいと思います。

(企画課・環境課)



環境にやさしい町を目指して

ISO14000シリーズとは...

品質管理・品質保証等の使用に関する全体のガイドライン規格「ISO9000シリーズ」に、環境影響への配慮を加えた環境マネジメント規格です。事業者らが環境問題に取り組むため体系的な管理方法を国際規格化(ISO)したものです。

ご協力ください。はたちの献血

冬は献血者が減少します

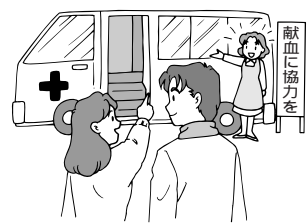
ゴールデンウィークやお盆と並んで、年末年始は献血者の数が一時的に減少する時期です。

また、風邪などで体調を崩す人が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなることなども冬場から春先にかけての献血者数が減少する原因になっています。献血者の減少は、長期保存のできない輸血用血液の不足につながってまいります。

若い世代の協力が重要です

献血者の約6割が30代までの若者であり、その中心は20代の若者たちです。ところが、少子高齢化の進展により若い世代が減少する一方、血液製剤を必要とする高齢者世代は増加しています。

厚生労働省では、若い世代のかたがたに、さらに献血に協力していただくため、新年に成人式を迎える20歳の若者を中心に、献血



日本赤十字社

への理解と協力を訴える「はたちの献血」キャンペーンを1月から2月までの期間に実施します。

重要な成分献血と400ml献血

日本では血液製剤の一部を海外からの輸入にたよっています。現在、すべての血液製剤を国民の献血により確保する体制を目指しています。このため、献血の中でも特に重要とされる「成分献血」(血しょうや血小板などの特定の成分だけを献血する方法)と、400ml献血への協力は、血液製剤の国内自給にとって必要不可欠です。

このキャンペーンを機会に、ぜひ献血にご協力ください。